

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生外語観光&製菓専門学校为学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成29年 7月 7日

校 長 竹口 伸一郎

自己点検・評価責任者

校長代行 下村 豪

学校関係者評価報告書

麻生外語観光&製菓専門学校

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況.....	1
1. 学校関係者評価の目的.....	1
2. 学校関係者評価の基本方針.....	1
3. 学校関係者評価委員名簿.....	1
4. 学校関係者評価委員会実施日時.....	1
5. 学校関係者評価方法.....	1
II. 学校関係者評価内容.....	2
基準 1 理念・目的.....	2
基準 2 教育の内容.....	3
基準 3 教育の実施体制.....	5
基準 4 教育目標の達成度と教育効果.....	6
基準 5 学生支援.....	7
基準 6 学生募集・受け入れ.....	9
基準 7 社会的活動.....	10
基準 8 管理運営・財務(学校・各部門).....	11
基準 9 管理運営・財務(本部).....	12
基準10 改革・改善.....	15

平成28年度
(2016年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生外語観光&製菓専門学校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属
業界関係者	松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課マネージャー
業界関係者	萩原 将章	同上 グランドサービス部 ラインハンドリング課3課 マネージャー
業界関係者	小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店 九州グローバルロジスティクス企画 次長
業界関係者	木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店主任
業界関係者	金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長
業界関係者	森山 光	株式会社アルク 福岡支店 支店長
業界関係者	能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長-人材開発担当
業界関係者	大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長
業界関係者	古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長
業界関係者	柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ
業界関係者	藤田 敦子	ロイヤルホールディングス株式会社 人事部長
業界関係者	三輪 一幸	株式会社JTB九州 福岡支店営業一課 担当課長
業界関係者	安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長
有識者	山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長
有識者	増田 義孝	航空貨物研修センター 代表
有識者	松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長
有識者	長 加奈子	福岡大学 准教授
有識者	加藤 博志	九州B.M.C. 会長

有識者	鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事、事務局長
高校	甲斐 直樹	福岡県立稲築志耕館高等学校 校長
地域住民	浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長
卒業生	堀部 豊和	
卒業生	久永 妙美	
保護者	村山 聖子	

※区分別、五十音順、敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成29年 6月 21日（水）14：30 ～ 16：20

場 所：麻生塾福岡キャンパス 8号館 8階 881教室

5. 学校関係者評価方法

平成28年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成しているがやや不十分
- C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神・法人の理念・教育方針等は明文化し教職員・学生に周知すると共に、ステークホルダーにも Web サイトやパンフレット等を通じて公表している。

また学科ごとに教育目的・育成人材像を定めており、学生便覧に掲載し学生へ周知している。実現するための具体的な授業計画、方法をカリキュラムやシラバスとして定め、同様に周知している。職業実践専門課程における各会議にて企業等からのニーズを聞き取りながら、内容の見直しを毎年行っている。Web サイトやパンフレットを通じ、社会に公表している。

主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

明文化、学校構成員の周知、社会公表及びそれらの共有が細部に渡り確立されている。GCBIはユニークかつ時代に合った素晴らしい内容であると感じる。

中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：S

小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学生には学生便覧を配布し、新入生オリエンテーションにて説明する機会を設けている。教職員には「ルールブック」を配布し、新入社員には入社時教育にて説明している。また Web サイト、学校紹介パンフレット等にて社会に公表している。

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学生には学生便覧にて周知し、入学時教育より理解する機会を設けている。また、通常授業・インターンシップ前研修・就職に向けた授業でも、教育理念を基に学生を指導している。

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

毎年発表される経営者の方針及び、職業実践専門課程における「学校関係者評価委員会」において、各委員からの意見を元に、教育理念の見直しを図っている。

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

教育目的・育成人材像は、「法人理念」「学校理念」より導き出されおり、学生便覧へ明記し学生へ周知している。職業実践専門課程の「教育課程編成委員会」での意見を踏まえ、毎年見直しができる体制を整えている。

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画(カリキュラムマップなど)を文書化し、学校構成員に提示・共有しているか。また各学科の教育目的は社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

教育目的は「学生便覧」に明示し、学生に周知徹底している。また、各学科の授業内容計画(シラバス)を作成し、各科目の授業開始時に、学生へ説明・配布している。シラバスは学内サーバーに保管し、教職員で共有している。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

専任教員は社会的良識と各分野に要求される経験・知識・技術を有しており、採用時にはその条件を満たす人材を厳選している。また教育に必要な設備・教材は毎年購入・更新している。

基準 2 教育の内容

項目総括

職業実践専門課程に関する取り組みにより、教育目標や人材育成像の達成に向けて、毎年、企業・業界ニーズを反映したカリキュラム作成を実施し、教職員間での内容共有を行いながら、学生へ教育を行っている。特に企業実習(インターンシップ)は全ての学科にて実施しており、効果的な専門教育・職業観醸成の機会となっている。

また、教育の根源となる教員を育成するため、授業アンケート・教師アンケートを実施し、客観的な評価を行うと共に、フィードバックを行い、必要に応じた研修を行いスキルの向上を図っている。

主な課題及び改善の方向性

学校として計画的な教員研修・勉強会が実施できていないので、教員育成目標を明確にし年間計画を立てて研修・勉強会を実施する。また、入学予定者に対する事前教育が不十分であり、その効果を計る手法が確立されていない状況がある。この点については、来年度以降、学校として取り組む。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

検討、見直しが都度行われており、ニーズを取り入れた実践的なカリキュラム作成の取り組みがなされていると感じる。企業訪問や実習巡回を行い、社会ニーズをより早く知り、カリキュラムに反映されている。教員相互の授業改善のための取り組みもよくなされている。学生の声を参考に授業内容を改善する取り組みは良い。オリジナルの授業であるGCBも高く評価できるものである。

中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：S

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

職業実践専門課程における「教育課程編成委員会」、就職グループによる日々の企業訪問、教員による企業巡回により、企業の人材ニーズを吸い上げ毎年、カリキュラムに反映させている。常勤・非常勤ともに内容を共有・熟知している。また、Web サイトに各学科カリキュラムを掲載公表している。

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

カリキュラム及びシラバス(コマシラバス)は修業年限分作成し、文書化している。学内サーバーに保管し教職員で共有している。また、シラバスは授業開始前に配布・説明し、各授業の内容・達成目標を周知させている。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

教育課程編成委員会では各業界の企業・有識者に参加してもらうと共に、学校関係者評価委員会には高校教員、地域住民の代表、卒業生も参加してもらい企業だけではなく、多方面から育成する人材やカリキュラムについて意見を頂いている。カリキュラム検討会議では広報スタッフ・就職スタッフも参加し各ニーズを取り入れ、求められる人材が育成できるカリキュラムを提供できるようにしている。

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

毎年、各学科にてカリキュラム内容を検証・見直した上で、各学科教員が参加するカリキュラム検討会議にて内容を共有・検証をしている。また、共有サーバーに各学科カリキュラムを保存し、教職員が共有し、教科間の整合性を確認できるようにしている。

中項目 2-2

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業ミニアンケート、教師アンケートを年2回実施している。その評価を元に主任・副主任または校長代行によるフィードバック面談を実施している。必要に応じて授業見学・研修を実施している。授業見学・指導結果は文書にて記録を残している。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会等、名称問わず)

■自己点検・評価結果： B

■コメント

新任教員には授業見学等を行い適宜アドバイスしている。しかし、同科目担当教員による勉強会が一部しかなされていないため、実施内容・時期等に関する年間計画を作成し、組織的に取り組んでいくことが必要である。

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： B

■コメント

法人としては、教育推進グループが中心となり教員の指導力強化のための研修を計画的に実施している。また、各業界主催の勉強会にも参加し専門性をブラッシュアップしている。しかし、学校として各教員の育成目標を元に計画的な研修および支援が実施できていない。

中項目 2-3

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

全学科で企業実習(インターンシップ)を実施し、単位認定している。実施にあたり、学生にとって効果的な学習機会となる様、企業と安全面も含め綿密に打ち合わせを行っている。実習終了後は企業より評価をもらい、参加学生へフィードバックを行っている。

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

麻生オリジナルの GCB(グローバルシチズンベーシック)教育を全学科にてカリキュラムの一貫として実施している。担任が科目担当となり、評価を行っている。また、教員には定期的に指導研修を行っている。

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

入学予定者に対し、学科毎に課題を与えている。しかしながら、その学習効果を計ることが出来ていない。来年度より入学予定者に e-learning を行うこととなり、客観的な教育効果の測定ができる見込みである。

基準 3 教育の実施体制

項目総括

教育目標、人材育成像を達成するための教育体制を人材面、設備面、安全面にて整えている。

専門技術・知識習得にあたり、必要な教員確保を行っており、常勤講師・非常勤講師の情報共有をしっかりと行いながら、学生指導にあたっている。

本校では実践教育が重要であるため、企業との連携により企業実習(インターンシップ)を実施しているが、教育的効果を上げる為に企業と打ち合わせを行い、安全面でも十分に配慮した内容となっている。

就職支援においては、キャリアサポートセンターを設置し、学生が必要な情報を取得でき、いつでも相談ができる体制を整えている。

教育設備に関しても、事業戦略グループと学校にて管理担当を分け管理している。法令に則った定期点検を実施し、必要に応じて補修・修繕をおこない、学生が安全に利用できる環境を作っている。

主な課題及び改善の方向性

教員採用の基準において、専門性、経験及び必要な資格に関する基準を人事グループと協同で、明文化する必要がある。また、備品管理に関して、一部管理できていないものがあるので、管理簿を作成し適切に管理していく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

専門教育の人材確保や非常勤講師との情報交換も適宜個別に行われ、教育の実施体制は整えられている。パソコン教室の整備は充実しているため、今後は各一般教室での活用も検討されると更に良いのではないかと。

中項目 3-1

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 3-1-1

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学生数に応じて十分な教員を配置している。また主要科目については、専任教員を配置している。教員1人あたりのコマ数も適切に割り当てており、専門分野バランスも偏りのない様にしている。

小項目 3-1-2

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

講師会(年1回)を実施し、授業運営・学生指導等に関するベクトル合わせを実施している。また、非常勤担当科目報告書により授業内容を共有すると共に、適宜個別に情報交換を実施している。

中項目 3-2

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 3-2-3

実習で使用する学校設備、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

資産管理すべき備品・教具の管理簿を整備しているが、それ以外のもので一部管理できていないものがある。また、主要設備・器具は定期的に点検し、必要に応じて修繕を行っている。

小項目 3-2-4

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学外実習においては、受入れ企業と安全面も含めた打ち合わせを十分に行い覚書を交わしている。参加学生には、事前教育を行うと共に、インターンシップ保険に加入させている。また実習時には教職員が巡回を行い、安全に実習が行われているか確認をしている。

小項目 3-2-5

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント 年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 3-2-6

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

キャリアサポートセンターを設置しており、就職指導担当者が常駐し、学生支援にあたっている。また、学生は就職に関する情報(求人票・パンフレット・受験報告書等)を閲覧でき、適宜、就職活動に関する相談をすることができる。

小項目 3-2-7

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

総合図書館があり、業界関連書籍等を設置している。蔵書数を増やしていくことが今後の課題である。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

年度開始前に麻生塾としての教育目標及び前年度の結果・評価を基にして事業計画を立案し、全教職員と共有している。教科、資格・検定、就職、退学防止に向けた指導については、毎月、各学科会議及び教職員全体会議にて状況を確認しており、改善に向けた取り組み事例を共有している。また、それぞれのデータは麻生塾システムにて管理をしており、全教職員が情報を共有できるようになっている。

各数値については、Web サイトやパンフレット、またオープンキャンパス・保護者会等で公表している。

主な課題及び改善の方向性

特になし

■学校関係者評価結果:適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

目標を設定された各項目に対し、細部に至るまで管理共有されている。公表されるべき内容はきちんと公表されており、透明性もある。資格取得、就職に関する目標設定、その進捗状況の適正はチェックが行われているようである。就職試験後の結果のフィードバック(企業からのヒアリング)は非常に良い。

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価をしているか

■学校関係者評価結果:適 合

■自己点検・評価結果: S

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

事業計画書(キックオフ資料)に進級、卒業率、及び検定等の目標数値を設定記載し、全教職員が共有している。進捗については各学科での月例会議・クラス運営報告書にて管理している。各学科の目標検定は管理シートを作成し、達成度を入力し、共有サーバーにて管理共有している。個人情報でもあり、資料の取扱いは厳重に管理をしている。

小項目 4-1-2

学科目標の国家試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

事業計画書に進級、卒業率、及び検定等の目標数値を設定記載し、全教職員が共有している。進捗については各学科での月例会議・クラス運営報告書にて管理している。各学科の目標検定は管理シートを作成し、達成度及び、指導の振り返り・次回への改善計画を入力し、共有サーバーにて管理共有している。

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

主要検定・コンペについては事業計画書にて目標設定・共有をしている。検定・コンペ終了後、検定結果報告書・振り返りシートを作成し、検証を行っている。検定結果はパンフレットに記載しているが、全ての検定結果が公表できている訳ではない。

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

事業計画書にて、就職関連の数値目標(進路決定率・就職率・業界内定率等)を設定し、全教職員で共有している。就職指導スケジュールを立案し学生に提示している。受験記録は麻生塾システムで管理しており、就職試験の結果は、校内統一の報告書にて記録・保存している。合格・不合格理由については、出来る限り就職グループ職員が企業へヒアリングを行い、フィードバックをして次の就職試験に向けた指導材料としている。また就職に関する数値は Web サイト及びパンフレットに公表している。

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

事業計画書にて卒業率に関する目標を設定し、全教職員で共有している。退学防止のための指導状況については、学科会議及び教職員会議にて共有し、各クラスの指導に役立っている。退学者数は Web サイトにて公表している。

=====

基準 5 学生支援

=====

項目総括

入学から卒業まで担任を軸として、学校全体で組織的に学生を支援する体制を整えている。

学生の健康管理・メンタルヘルスに関しては、校医・専門カウンセラーを配置している。就職支援ではキャリアサポートセンターに専門相談員を設置し、併せて就職スタッフによる求人票獲得、校内企業セミナー・選考会誘致など、希望する就職ができるよう支援を行っている。

また本校では担任制度を敷き、定期的な面談だけでなく、状況に応じたガイダンスを実施し、学生状況を細かく確認し、各部署と共有している。保護者とも連携を密にしており、電話連絡、三者面談など行っている他、保護者会を実施し、学校の取り組みや就職活動に向けた情報共有を行っている。

卒業後も、校友会組織を作り再就職の斡旋や、キャリアアップ研修の実施、同窓会の開催などのサポートを行っている。

主な課題及び改善の方向性

学生の多様化が進む中、一人ひとりの状況に合わせた細かな支援体制を構築していくことが必要になっており、来年度は総合的な学生支援を行える体制を整える準備を進めている。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

担任制度を軸として、定期的な面談等で細かく支援されており、安心して取り組める体制が整えられていると感じる。保護者との連携にも力を入れ、学生自身へのメンタル、ハラスメントへの対応、対処も確立されている。校友会を通じての卒業生への支援体制も行われておりケアやサポートがしっかり図られている。

=====

中項目 5-1

学生支援を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

前期・後期の定期担任面談を実施、また必要に応じて随時面談を実施している。学生の状況に応じて、学内の各窓口と協力して学生支援を行っている。面談実施後はガイダンス記録表に時系列に記載入力し、共有フォルダーにて共有・管理している。他部門と共有が必要な場合には、ガイダンス記録表と共に情報共有を行っている。

小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

入学前、就職活動前には保護者会を開催している。また、必要に応じて三者面談も実施しており、その内容は時系列にガイダンス記録表を作成し、共有サーバーに保存している。保護者面談は状況に応じて、主任・副主任、校長代行も同席している。

小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

キャリア・ディベロップメント・アドバイザーの資格を有する職員を配置し、担任と協力しながら、学生の就職指導を行っている。

小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

健康管理、メンタルヘルス担当のカウンセラーを配置し、学生相談ができる体制を整えている。学生には学生便覧等にて相談窓口について周知を行っている。

小項目 5-1-5

ハラスメントに関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

ハラスメント相談窓口を設置している。学生には、学生便覧、教室内案内掲示物及び担任から案内を行い、周知を図っている。また、学内ではハラスメントに関する委員会を組織し、マニュアル・規程の整備や定期的な研修を実施している。

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

経済的理由に対する修学支援として授業料免除制度、優秀学生に対する授業料免除制度を整備している。また、日本学生支援機構の奨学金制度、各自治体や各種団体等の奨学金制度についても情報を提供し、手続き支援を行っている。

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

留学生は担任と情報共有しながら、国際交流センターが生活面を、就職グループが就職面を支援している。社会人学生・障がいを持つ学生については、各学校と学生支援グループ、就職グループが情報共有し、協力して学生に必要な支援を実施している。一部の学科には社会人学生のため、教育訓練給付制度を設けて修学支援を行っている。

小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

教職員が顧問として課外活動を支援しており、部活動には年間予算をつけている。今後、規程を整備するように準備を進めている。

中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1年後の就業状況を把握しているか。また、卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生の就職先に対し、就業1年、2年、3年経過後の在籍状況のアンケートを実施している。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

Webサイトに卒業生に向けた校友会のページを設け、再就職斡旋・キャリアアップ講座の申込みがインターネット上からできるように整備している。

小項目 5-2-11

学校情報を卒業生、保護者、高等学校等、企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

最新の情報を適正に発信、随時更新している。

基準 6 学生募集・受け入れ

項目総括

学生募集ではアドミッションポリシーを募集要項や Web サイトにて明示し、学校・学科でどのような能力や意欲を持った学生を求めているか明らかにしている。これにより入学後のミスマッチをなくすよう努めている。また、選考方法、学費・教材費等明示すると共に、就職実績・資格取得実績についても正確に伝え、納得して入学をしてもらえるようにしている。

主な課題及び改善の方向性

更に詳細な情報(学科毎の教材費等)や最新情報(就職、資格取得状況)を伝えられる様に、Web サイト等に掲載していく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

公平公正な入学選考が行われている。高校への訪問での専門職によるニーズの把握や募集活動への反映も的確に行われている。パンフレットやウェブを利用して適正に募集活動が公表されている。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：S

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

学校の教育理念に基づいたアドミッションポリシーを文書化し、募集要項、Web サイトに明示すると共に、オープンキャンパスにて説明している。また入学説明会の中で、あらためて内容を説明している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

高等学校を定期訪問するための専門職を置き、ニーズの把握、募集活動への反映に努めている。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

パンフレット、Web サイトに掲載している。パンフレットはその性質上、最新情報が掲載できていない部分もあるが、Web サイトにて最新情報を掲載するようにしている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

パンフレット、Web サイトに掲載しており、オープンキャンパス等にて学科毎に詳細を説明している。

小項目 6-1-5

募集要項には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

募集要項及び Web サイトに掲載している。学科別に掲載が出来ておらず今後の課題である。金額は、競合校と比較しても大きな差異はなく、学校が目指す人材育成を達成するためには妥当な金額である。

小項目 6-1-6

募集要項には入学者の選抜方法を明示し、入学者選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

選抜方法は募集要項及び Web サイトに掲載をしている。入学者選考は、選考基準に沿って適切に実施している。実施方法や選考方法は広報グループ・学生支援グループを中心とした会議にて毎年見直しを行っている。また、選考方法等は全体会にて共有している。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

募集定員については、学科毎に見直しを行っている。また入学者数比率及び収容定員に対する在籍学生数比率は適性に管理している。

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

学内にボランティア推進委員会を組織し、学校毎に特徴を活かしたボランティアを推進している。また、地域貢献への取組みとして中高生・大学生を対象とした職業観醸成のためのイベント「お仕事スタジアム」を多数の企業にも参加協力を頂き開催している。H29 年3月開催回では、九州・山口から約 5500 名を集めた。

主な課題及び改善の方向性

計画的なボランティア活動、地域貢献活動が十分に出来ていない。まずは学校主導で活動ができる基盤づくりを行い、数年後には学生による主体的な活動としていく。単位認定規程はあり、学校として積極的に進めていく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

学校界隈の公園清掃活動等で学生のみなさんに手伝っていただき大変助かった。お仕事スタジアムは職業観醸成という意味で大変有意義であると感じる。社会に出る準備として動機付け、意識改革の機会が充実している。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： B

=====

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： B

■コメント

ボランティア委員会はあるものの、計画的に基づいた活動が実施できていない。ボランティア活動に対する単位認定制度はあるが、平成28年度の認定実績はない。

小項目 7-1-2

学校として地域貢献を目的とした公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

麻生塾として主催している職業観醸成を目的としたイベント(お仕事スタジアム)は実施しているが、学校単体として公開講座等の地域貢献活動が実施できていない。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

地域イベントへのボランティアは幾つか実績はあるものの、企業・地域・行政等の組織との連携は不十分であり、十分貢献できていない。

=====

基準 8 管理運営・財務（学校・各部門）

=====

項目総括

学校存続に重要なステークホルダーからの一層の信頼を得る為、コーポレートガバナンス体制強化と、コンプライアンス徹底に取り組んでいる。法人としてコンプライアンスに関する社員教育を行い、またガバナンスを効かせる組織体制の見直しを毎年行っている。

また学校会計の原則に従い、適切な会計処理を行うと共に、監査ルールに則った監査を実施している。外部監査からの承認も受けており、学生たちに安心して学業を修めてもらう環境を整えている。

主な課題及び改善の方向性

各種マニュアルの更新を定期的に行い、教職員で共有していく。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

運営会議や部門会議が定期的に行われ、議事録もきちんと作成・共有されている。何よりこの学校関係者評価委員会自体素晴らしい取り組みである。財務運営は健全であり、予算に沿って適切に執行されている。

=====

中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

=====

小項目 8-1-1

運営会議(教務会議・部門会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

校長代行・主任・副主任による運営会議を毎週実施し、学校運営に関する課題発見・問題解決・運営確認を行っている。また必要に応じて臨時で会議を実施している。さらに毎月、全教職員による教務会議及び、各系による部門会議を行って各進捗管理、運営方法確認等を行っている。議事録を作成し共有している。

小項目 8-1-2

組織の職務分掌を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

教職員に応じた職務を割り振っており、校務分掌・役割分担表として文書化し共有している。毎年見直しを行っており、教職員の経験・状況を考慮して職務を分担している。

小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果：A

■コメント

危機管理マニュアル文書化し設置しているが、見直しは定期的に行われていない部分は課題である。学生・教職員が参加した避難訓練を毎年実施している。

小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

個人情報保護管理規程を文書化し共有している。学生等から個人情報を取得する際には、本校の取扱規程を明示し、適切に取り扱っている。

小項目 8-1-5

ハラスメントに関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

ハラスメント規程があり教職員に会議にて周知している。学生便覧にもハラスメントに関する相談窓口を明記し、入学時オリエンテーションでも説明を行っている。法人としてもハラスメントに関する研修を実施している。

小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

支援グループが主催している募集・就職に関する研修には参加している。しかし、学校として計画を作成し、研修を実施できていない。

中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

中期事業計画に基づく毎年の事業計画及び年度予算がない。まずは中期事業計画の作成を進める。

小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

毎月実績を確認しており、予算に沿って適切に執行している。必要があれば関連部署と相談の上、見直しを行っている。

小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

固定資産管理規程に基づき、管理・運用を行っている。台帳を作成し、年度末に棚卸しを行い確認・管理している。

小項目 8-2-10

適用除外

基準 9 管理運営・財務（本部）

項目総括

管理・運営体制の充実、改善活動の推進、諸規程の整備などを通して、教育環境の向上を図り、教育の質を高める活動を展開している。今年度は福岡キャンパスで新校舎新設、総合図書館における図書貸出の取り組みなど、学生サービスの拡充に取り組んだ。

財務面では財務体質の健全性の確保、会計監査体制の見直し、情報公開などを推進している。

また、2016年4月の熊本地震を受けて、リスクマネジメント、建物・設備の点検、非常時の対応策などについて見直しの徹底を図っている。

主な課題及び改善の方向性

学校の特性などにより募集活動に差が出てきている。これを受けて中長期的な観点からの経営計画の見直し、および学校教育制度の変化を考慮した運営体制の見直しが必要である。短期的には各種の規程の整備や制度の充実、および情報の公開性を高める方策が喫緊の課題である。

■学校関係者評価結果：適 正

学校関係者評価 評価者のご意見

個人情報のリスクは社会的に大きいので、更なる取り組みを続けていただきたい。

中項目 9-1

管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果： A

小項目 9-1-1

運営会議(常任理事会、MM 会議、共有会議等)を定期的に開催し、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

常任理事会、MM 会議、共有会議を開催し、進捗の報告、課題・成果の共有を行なっている。

小項目 9-1-2

決裁規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

稟議規程を作成し運用している。組織変更にあわせた変更が必要。

小項目 9-1-3

人事関連規程を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。(人事考課制度、昇進・昇格制度)

■自己点検・評価結果： B

■コメント

人事考課制度、昇進昇格制度ともに策定できているが、昇進昇格制度の周知徹底に関しては更なる改善が必要。

小項目 9-1-4

賃金制度を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

文書化し、適切に運用できているが、開示が不十分。

小項目 9-1-5

教育目的を達成するために、適切な採用制度を設けて文書化し、運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

採用規程を改定し、運用を行っている。

小項目 9-1-6

学生による授業評価活動を計画・実施し、改善を推進しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

授業アンケートを年 2 回実施し、結果の報告書を作成している。しかしながら、改善活動の実施について、学校間に差があり、解消していく必要がある。

中項目 9-2

法人の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 9-2-7

教育活動を安定して遂行するために、必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

収支も予算どおりに推移しており、財政的基盤に重要な問題はない。

小項目 9-2-8

予算編成及び予算執行を適切に行ない管理しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

月次ごとに予算状況を把握しており、大きな差異について、その都度問題を把握している。

小項目 9-2-9

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確化にし、結果報告を文書等にて明示しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

今年度より個人の監査人から、監査法人へ契約変更。今後は監査法人と密に連携していく。

小項目 9-2-10

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し、公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

「学校の方針」に基づき、必要な事項を適切に開示している。

中項目 9-3

教育環境を整備・管理し適切に運営しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

小項目 9-3-11

空調、防災設備等の学校設備を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

年間点検計画を立て、専門業者へ依頼し、その報告書を受領し、確認している。

小項目 9-3-12

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

長期修繕計画にもとづき建物の管理を行なっている。

小項目 9-3-13

固定資産管理規程を文書化し、教職員に周知し、固定資産を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

文書化はしているが、部分的にしか周知はしていない。

小項目 9-3-14

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し、学校構成員に周知徹底しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

地震・火災・不審者対応マニュアル、緊急時対応フローを作成し組織化し、必要に応じて追加見直しを行なっている。

小項目 9-3-15

個人情報保護規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、日常的に啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

desknet's、ルールブックにて周知、研修を行なう予定だが、日常的な啓発活動が不足している。

小項目 9-3-16

ハラスメントに関する規程を文書化し、学校構成員に周知しているか。また、防止のための啓発活動を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

ハラスメント防止規程、防止ガイドラインを作成し、desknet's、ルールブック、研修等にて周知、啓発している。

小項目 9-3-17

図書(固定資産)管理規程を文書化し、図書を適切に管理しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

図書管理規程および運用規程のもと、専任職員による管理運用を行っている。

図書貸出しにむけた管理・運用規程を整備していく。

=====

基準 10 改革・改善

=====

項目総括

自己点検・評価委員会を組織化しており、評価項目についても学校の実情に合わせ見直しを行いながら、点検を実施している。点検結果については、学校の Web サイトにて公開している。

主な課題及び改善の方向性

教職員全体で内容を熟知し、改善に取り組むことが必要である。自己点検の意義を共有し、理解を深める機会を増やし、更に改善に努めていく。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

良い状況であると思うが、更に上を目指されている姿勢が素晴らしいと感じる。

中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するための規程を整備し、実施し、改善のための年間計画を作成しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

自己点検・評価委員会規程があり法人として、委員会を立上げ計画的に運営している。しかし、学校内には担当者はいるものの組織化されていない。今後、組織化し教職員の意識向上にも努める。

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価活動及び評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

自己点検・評価結果は文書にて全教職員に回覧している。今後、教職員全員が改善につなげる提案の場を設ける。

小項目 10-1-3

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

自己点検・評価結果に基づき、改善計画を立て、改善に取り組んでいる。法人内の内部監査により結果を検証している。今後、教職員全体で取り組んでいくように意識改革を行っていく。

小項目 10-1-4

自己点検・評価活動に関する内部監査を組織的に行ない、改善活動に役立てているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

全体計画を基に、法人内で内部監査を実施している。改善事項だけでなく、他部門にも取り入れるべき良い事例については共有している。

小項目 10-1-5

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトで公開しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

文書化し学校の Web サイトにて報告書を公開している。